

美川仏壇に鑑定団

美川仏壇が地域団体商標（地域ブランド）として認められたことを受けて、美川仏壇協同組合（白山市）は「美川仏壇」として販売された商品の真贋鑑定に本腰を入れる。組合に設置された鑑定委員会の活動を本格化させ、偽物や不正行為の撲滅を図り、ブランド価値の保護に努めていく。



仏壇を鑑定する金谷さん（左）と明正さん（中央）

＝小松市荒木田町



美川仏壇と認定するプレート

美川仏壇は「堅牢、荘厳、華麗」な造りで全国的に知られ、その知名度に便乗してプラスチックや合板で造られたものでも「美川仏壇」として販売されるケースが後を絶たなかった。

不正行為の横行に頭を悩ませていた美川仏壇協同組合は昨年、地域団体商標登録の申請と同時に鑑定委員会を発足させた。

鑑定委員は組合正会員十五人で組織され、組合加盟店が販売した商品を抜き

協同組合が委員会発足

不正行為に目光らす

打ちで鑑定するほか、加盟 さない構え。
店以外から購入した場合も 五日、小松市荒木田町の 依頼があれば対応する。
鑑定では、「美川仏壇」 の独自の製造基準に沿った 材質の使用や商標認定ラレ ーキなどを確認する。本物 はくきを使わずに顔立、木 地や塗りを確認した。
購入した経緯があり、「三 重、三重に厳重な鑑定をし てもらい、さらに信頼が深 まった。安心して手を合わ せられる」と喜んだ。明正 委員長は、消費者を保護す るために不正行為に目を 光らせる」と話した。